

阪大万博DAY

日時: 2025年9月7日(日) 10:00 - 21:00 参加費無料
場所: TEAM EXPOパビリオン(フューチャーライフゾーン)

※万博会場には別途入場チケットと来場日予約が必要です。

2022年から”阪大万博トークイベント”を6回開催してきました。そのトークイベントをスケールアップして、『**阪大万博DAY**』をTEAM EXPOパビリオンにて開催します。

テーマ: 「**世界の人たちに知ってもらおう、私たちの日本を！**」

【展示ブース】 10:00～21:00

今なお、世界は紛争、分断、自然災害などに見舞われています。普段忘れがちな日本の昔の経験(過去)、今なお続く課題(現在)など、世界にも共通するような「日本の課題」について大阪大学の学生8団体それぞれが向き合い、世界中からの来場者に知って頂き、対話することでその解決の糸口を探り、未来社会に向けての共創を生むきっかけ(=場)を提供します。また、大阪大学の取組として、海外大学の学長メッセージやSDGs動画コンテストの優秀作品等も紹介します。

【ステージ】 18:30～20:00

「いのちを育む」をテーマにシグネチャーパビリオンを出展する**河森正治プロデューサー**をゲストに迎え、阪大万博学生会部の学生たちと阪大万博DAYのテーマについて対話し、万博だからこそのスペシャルなパネルディスカッション「いのち会議・若者が描く未来社会5」をお届けします。



【阪大万博DAYステージ参加申込】 ※ステージの客席数はとても少なく、会場参加申込されても座席の確約をするものではありません。



会場参加



オンライン参加

主催: 大阪大学2025年日本国際博覧会推進室
共催: いのち会議
後援: 関西SDGsプラットフォーム大学分科会
大阪大学社会ソリューションイニシアティブ

見るだけじゃつまらない。参加しよう、大阪・関西万博に！！

場所

TEAM EXPOパビリオン(フューチャーライフゾーン)

プログラム

【展示ブース】 10:00～21:00

10:00～13:00 学生団体Flagship / アイセック大阪大学委員会 / 大阪大学

13:30～16:30 大阪大学MeWプロジェクト / 大阪大学ローバース / 福島県復興支援サークルはまでいず / 大阪大学

17:00～21:00 大阪大学「DAIGAKU」開発チーム / 高大連携教育団体SUIT / a-tune / 大阪大学

【ステージ】 18:30～20:00

18:30～18:50 基調講演「いのちは、合体・変形だ！」河森正治氏

18:50～18:54 いのち会議について 堂目卓生氏

18:54～19:00 万博学生部会3団体のピッチ a-tune / 大阪大学ローバース / 福島県復興支援サークルはまでいず

19:00～20:00 パネルディスカッション「いのち会議・若者が描く未来社会5」

河森正治氏、堂目卓生氏、万博学生部会3人、小川真由氏(進行)

プロフィール

●河森 正治氏 2025年日本国際博覧会・テーマ事業プロデューサー
/アニメーション監督/メカニックデザイナー
/ビジョンクリエイター

代表作：『マクロス』シリーズ、『アクエリオン』シリーズ（原作、監督、メインメカ）、『機動戦士ガンダム0083スターダストメモリー』（メカスタイリング）、宮沢賢治の半自伝的アニメーション『イーハトーヴ幻想 KENJIの春』（原作、監督）、『攻殻機動隊』、ソニー“AIBO”『ERS-220』、日産デュアリス『パワード・スーツ デュアリス』、『新世紀GPXサイバーフォーミュラ』、『アーマードコア』、『デモンエクスマキナ』（メカデザイン）、ソニー・スマートウォッチwenaオリジナルモデル盤面デザインなど。



●堂目 卓生氏 大阪大学総長補佐・社会ソリューションイニシアティブ長

京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士。専門分野は経済学史、経済思想。主な著書は『Political Economy of Public Finance in Britain 1767-1873』（日経・経済図書文化賞）、『アダム・スミス「道徳感情論」と「国富論」の世界』（サントリー学芸賞）など。2001年より大阪大学教授。2018年より社会ソリューションイニシアティブ（SSI）長。2019年、紫綬褒章。



●小川 真由氏 フリーアナウンサー

大阪大学外国語学部卒業。大学では日本語教育とビルマ語を学ぶ。卒業後、地方民放局とNHK（金沢局・大阪局）で、報道記者・アナウンサー・ニュース制作等を16年つとめる。2024年4月、外資系コンサルティング会社のメディア・PRコミュニケーションを専門にしたコンサルタントに転身。司会や動画ナレーション、文学作品の朗読など、アナウンサーの活動も続けている。愛知県犬山市出身。



「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けて

2025年大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。

「いのち」をまもる、はぐくむ、つなぐ、という視点から社会課題に取り組んでいる大阪大学は「いのちに向き合う大学」として、本万博でその成果を活かす最大の好機であると考えています。本万博のコンセプト「未来社会の実験場」では、展示を見るだけでなく、世界中の人びとがアイデアを交換して未来社会を共創「Co-create」することになっており、本学もその場に参加し貢献しています。また、本学は2025年日本国際博覧会協会主催の「TEAM EXPO 2025」プログラム“共創パートナー”にも登録しており、教職員や学生の“共創チャレンジ”を支援すると共に学外の方々とともに共創活動を進めてきています。具体的な取組は、①未来社会の構想（「いのち会議・いのち宣言」）、②海外の大学とのグローバルな共創、③次代を担う若者や学生の参画（万博学生部会）です。



Facebook



Instagram



HP